

旭市新庁舎建設位置の検討に対するパブリックコメントの実施結果について

1 実施結果

募集期間	平成26年8月15日から平成26年9月5日まで
意見提出者数	35人
意見数	69件

2 庁舎建設位置にふさわしいとした意見

庁舎建設候補地	意見提出者数
A案 現本庁舎敷地	4
B-1案 旭文化の杜公園(県道沿い公園入口付近)	14
B-2案 旭文化の杜公園(県立東部図書館東側駐車場)	4
C案 旧海上中学校敷地	4
D案 消防本部隣接地	8
その他	1
合 計	35

3 庁舎建設位置に対する項目別の意見

	項 目	意見数
1	市民の利便性	27
2	防災拠点・安全性	15
3	まちづくりとの整合性	10
4	経済性	8
5	法令適合性	1
6	その他	8
	合 計	69

※意見数は、ふさわしいとした理由の内容を項目に分類しています。そのため、1人の方で複数の項目に関する理由が記載されていればそれぞれカウントされます。

個々の意見と意見に対する市の考え方

A案 現本庁舎敷地

No.	庁舎建設位置に対する項目	建設候補地とした理由	市の考え方
1	1. 市民の利便性 4. 経済性 6. その他	車が無い者には利便性が第一。コミュニティバスのルート本数の増加等と併せて改善を求める。敷地が狭いところは工夫次第。	建設地選定の参考とさせていただきます。市民にとって、分かりやすく、利用しやすい庁舎であることが必要であるため、利便性の評価は建設地選定の指標であると考えます。
2	1. 市民の利便性 2. 防災拠点・安全性	市の中心部であり利便性が高くユーティリティ等も揃っている。敷地が狭いので高層化を望む。旭文化の杜公園は出来て間もないため十分な評価がまだされていない。	建設地選定の参考とさせていただきます。
3	2. 防災拠点・安全性 3. まちづくりとの整合性	現本庁舎敷地を中心とした市民のための街づくりが第一で、新庁舎は充実した高層ビルが望ましい。B-1案の広々とした素晴らしい公園は市のとても貴重な景観であり、スポーツセンターなどがあればもっと活気がでて、津波時の避難場所にもなる。	建設地選定の参考とさせていただきます。
4	1. 市民の利便性 2. 防災拠点・安全性	市の中心部であり人通りも多く最適。敷地が狭く災害時の対応等に問題がありとされているが高層化で解決できる。	建設地選定の参考とさせていただきます。

B-1案 旭文化の杜公園【県道沿い公園入口付近】（ゲートエリア付近）

No.	庁舎建設位置に対する項目	建設候補地とした理由	市の考え方
1	1. 市民の利便性	市外の人々にも解り易く、市の中心。イメージが良い。	市民にとって、分かりやすく、利用しやすい庁舎であることが必要であるため交通の便の評価は、建設地選定の指標であると考えます。
2	1. 市民の利便性	新庁舎は市の顔であり市外からの訪庁者に分かりやすい事。旭駅からも利便性に優れている。将来、銚子連絡道路にも接点が出る。新庁舎の西側に美しい夕日が沈む景色が見られる。	市民にとって、分かりやすく、利用しやすい庁舎であることが必要であるため交通の便の評価は、建設地選定の指標であると考えます。
3	1. 市民の利便性	周りの環境も良く、駐車場も広くあり便利。	建設地選定の参考とさせていただきます。
4	1. 市民の利便性	市の中心である。	建設地選定の参考とさせていただきます。
5	6. その他	家から近い。現本庁舎から近い方が良い。	建設地選定の参考とさせていただきます。

6	1. 市民の利便性 2. 防災拠点・安全性 4. 経済性	どの候補地も一長一短がある。一部の例外課（例えば秘書広報課）を除き可能な限りワンフロアとする事が市民の利便性、行政事務の効率性、市民サービスの向上、市民からの職員の日常の仕事への関心、注目等々につながる。ワンフロアの場合駐車場も確保すると大きな面積が必要だが、返還額（補助金）等がネックだが、現在地で職員駐車場の賃借料を払い続けていく事、他の候補地の用地取得費と比較すれば多額にならない。旭文化の杜公園は投資に見合った効果をもたらしていない。公園を一部残すことは必要であるが、将来的に消防・警察を集約する事を考慮すべき。	建設地選定の参考とさせていただきます。
7	1. 市民の利便性 2. 防災拠点・安全性	市の中心にあり公共施設に隣接していれば利用機会も増える。市有地を活用する事を拡大し市民の繁栄にもつながる。建物は4階建てで屋上は災害時の避難場所。	他の公共施設との連携は必要不可欠であるため、建設地選定の指標であると考えます。また、防災機能は、新庁舎に求められる機能であると考えます。
8	1. 市民の利便性	旭駅を基幹とし、高齢者でも徒歩可能な立地条件。徒歩で他の公共施設がまわれる事は便利。	他の公共施設との連携は必要不可欠であるため、他施設へのアクセスの評価は、建設地選定の指標であると考えます。
9	1. 市民の利便性	県、市の主要機関は、市の主軸にまとめるべきであり郊外であると利便性に欠ける。	建設地選定の参考とさせていただきます。
10	1. 市民の利便性	立地条件が良い。	建設地選定の参考とさせていただきます。
11	2. 防災拠点・安全性	災害時の対応がとれる。	建設地選定の参考とさせていただきます。
12	1. 市民の利便性 2. 防災拠点・安全性	広い駐車場が確保可能。災害時を考慮	建設地選定の参考とさせていただきます。
13 ・ 14	6. その他	この場所が良い。	建設地選定の参考とさせていただきます。

B-2案 旭文化の杜公園【県立東部図書館東側駐車場】（第二駐車場）

No.	庁舎建設位置に対する項目	建設候補地とした理由	市の考え方
1	1. 市民の利便性 2. 防災拠点・安全性	交通の利便性（地方自治法に合致）。公園用地が広い。他の公共施設が近い（消防・警察・病院）。総合庁舎方式により業務の効率化、市民の利便性が図れる。防災拠点として災害時に避難施設として利用できる。地理的にほぼ市の中心。	他の公共施設との連携は必要不可欠であるため、他施設へのアクセスの評価は、建設地選定の指標であると考えます。
2	6. その他	長年慣れ親しんだ市役所の近くが良い。	建設地選定の参考とさせていただきます。

3	1. 市民の利便性	公共機関は隣接していた方が便利。交通渋滞も少ない。夜間は閑散としているので。	建設地選定の参考とさせていただきます。
4	1. 市民の利便性	駅の周辺にあった方が便利。	建設地選定の参考とさせていただきます。

C案 旧海上中学校敷地

No.	庁舎建設位置に対する項目	建設候補地とした理由	市の考え方
1	2. 防災拠点・安全性 3. まちづくりとの整合性 4. 経済性 6. その他	広大な市有地で、用地取得費用を要さない。合併特例債を活用するなら工期の確実性を優先すべき。地盤が一番良い。災害時の対応スペースが十分である。市有地は市民の財産であり、安易に手放すべきではない。県の施設も用地狭隘で古いので誘致すべき。警察等との連携は地理的に十分可能、万が一の想定外（ハザードマップ想定をはるかに上回る）巨大津波があったとしても台地地域へ最も近距離で被災軽減に有利。旧海上・飯岡の商店街の活性化の機運が出せる。県道拡幅は現庁舎と比べてみても必要ない。周辺地域での大雨時の冠水問題は庁舎建設とは別の問題として早期改善を講ずるべき。D案消防本部隣接地への庁舎建設は用地取得という大きな経費が必要であることなどから適さない。	敷地面積は、庁舎、駐車場の形状等に影響し、最終的には建設費用にも関係してくるため、広い敷地面積が確保できることは、利点であると考えます。
2	1. 市民の利便性 3. まちづくりとの整合性 4. 経済性 5. 法令適合性	駅から近い。敷地が広く新庁舎以外の施設も可能。利便性は国道126号と広域農道へアクセスしやすい。まちづくりとの整合性は飯岡駅前に空き地が目立つので新たに整備しやすい。経済性は短期・長期的にも一番安い。法令適合性は行政の検討による。	敷地面積は、庁舎、駐車場の形状等に影響し、最終的には建設費用にも関係してくるため、広い敷地面積が確保できることは、利点であると考えます。
3	1. 市民の利便性 3. まちづくりとの整合性 4. 経済性	駅に近い方が良い。建設費の負担が少ない。市の将来（土地開発上）は中心部集中型ではなく公共施設エリアの拡大計画が好ましい。	建設地選定の参考とさせていただきます。
4	1. 市民の利便性 4. 経済性	市有地のため用地取得に無駄な費用を要さない。飯岡駅から近い。B-1案とB-2案は、文化会館等があるため交通渋滞が予想される。D案については税金の無駄使い。	建設地選定の参考とさせていただきます。

D案 消防本部隣接地

No.	庁舎建設位置に対する項目	建設候補地とした理由	市の考え方
1	1. 市民の利便性 2. 防災拠点・安全性 3. まちづくりとの整合性 4. 経済性	交通の利便性が良い、災害発生時に消防・警察との連携がとれる。将来の合併時には中核となる。用地取得費について難があるが、低層階が望ましい。	他の公共施設との連携は必要不可欠であるため、他施設へのアクセスの評価は、建設地選定の指標であると考えます。
2	1. 市民の利便性 2. 防災拠点・安全性 3. まちづくりとの整合性	旧1市3町の中心。消防・警察・病院と近接しているため市民が利用しやすい。今後の合併を見据え中心となる。	他の公共施設との連携は必要不可欠であるため、他施設へのアクセスの評価は、建設地選定の指標であると考えます。
3 ・ 4 ・ 5	1. 市民の利便性 2. 防災拠点・安全性 3. まちづくりとの整合性 4. 経済性	旧町から渋滞が少なく来れる。将来の合併を見据えたときに国道にアクセスしやすく中心となり、市の発展にもなる。道の駅へもアクセスしやすい。建物は3階以下が望ましい、4階以上だとメンテナンス費がかさむ。大規模災害時に対応しやすい、交通の便も非常に良い。	他の公共施設との連携は必要不可欠であるため、他施設へのアクセスの評価は、建設地選定の指標であると考えます。
6	1. 市民の利便性 6. その他	地権者の同意が得られれば、国道及びアクセス道に隣接し利便性が良い。建設費をかけずに現在の公共施設を利用するという観点から海上支所及び公民館が候補地に上がらなかったのは残念である。	市民にとって、分かりやすく、利用しやすい庁舎であることが必要であるため、交通の便の評価は、建設地選定の指標であると考えます。
7	1. 市民の利便性 2. 防災拠点・安全性	市の中心であり、警察・消防と隣接している。	建設地選定の参考とさせていただきます。
8	1. 市民の利便性 3. まちづくりとの整合性	旭中央病院へのアクセス道路が計画されており、広い道路及び広い農地を利用してもらいたい。また干潟・海上地区の市民の利便性も良い。	建設地選定の参考とさせていただきます。

その他

No.	庁舎建設位置に対する項目	建設候補地とした理由	市の考え方
1	6. その他	建設位置の検討は留保すべき。建設費が高騰している現在は建設延期が賢明であり他市の英断を参考にすべき。市民の負担は国民健康保険税・介護保険料等が大幅に増えています。	本庁舎の建設が昭和39年と築後50年を経過しており、耐震性も不足しています。発生が懸念されている大規模地震等に十分耐えうる状況ではなく、防災機能上からも早期建設が肝要と考えます。